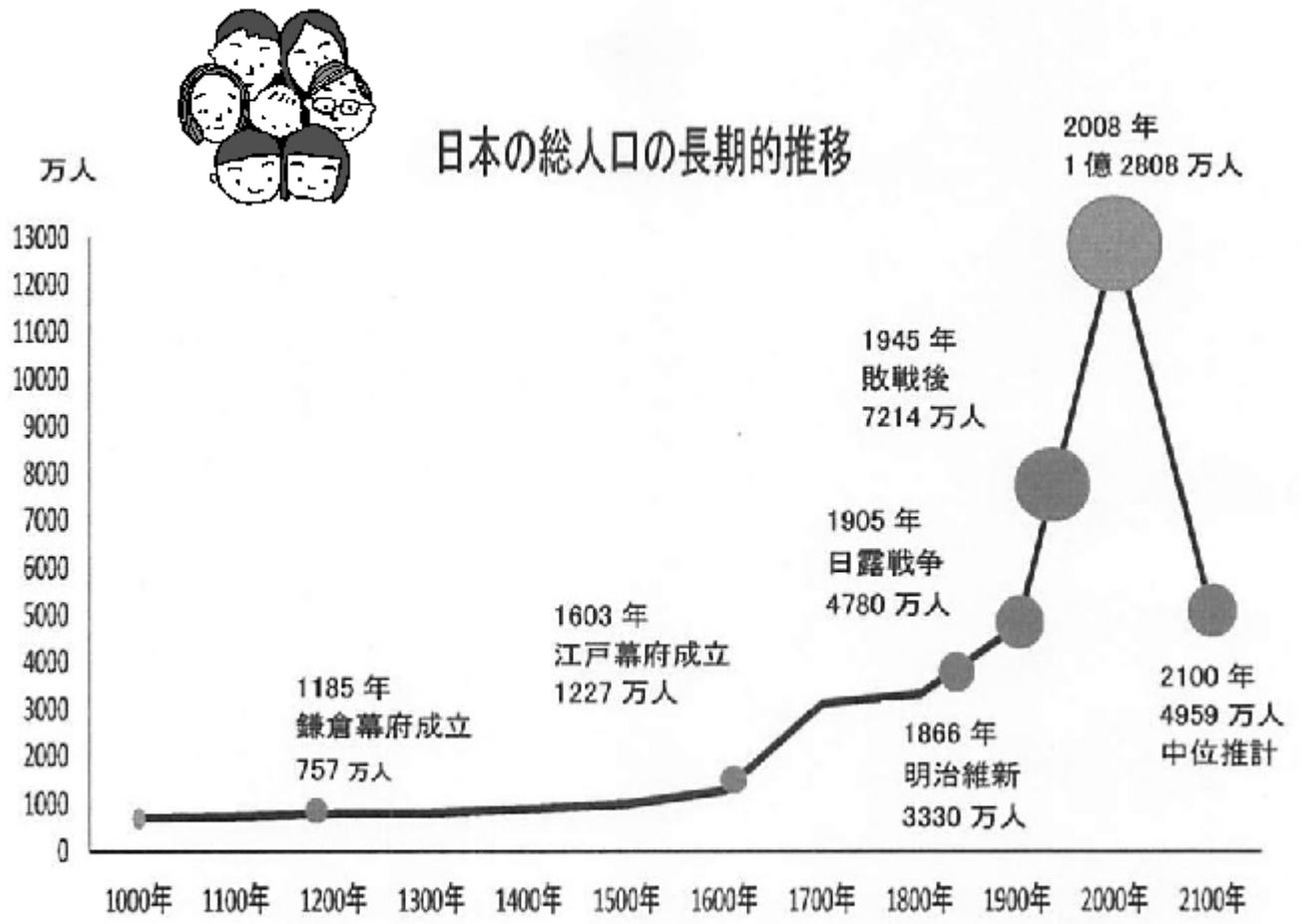


# なぜ、日本は2100年には、 人口5000万人を割ると予測されるのでしょうか。

下のグラフのように110年前の1905年の日本の人口4780万人と100年後の2100年の予測4959万人との中間の2008年に最も多い1億2808万人です。急増急激です。



【「人口減少×デザイン」笑裕介 P13 を再アレンジ 2015/7/24】

この人口の急減は、避けられないものです。  
人口減少がなだらかになり、増加になるのはいつになるのでしょうか。  
若い世代が子どもを2人以上出産し、育てて、中位推計の4959万人です。

この推計（国立社会保障・人口問題研究所の中位推計）では

- 0～14才人口は2100年447万人（9%） ← 2010年1683万人（13%）
- 15～64才人口は2100年2473万人（49%） ← 2010年8173万人（63%）
- 65才以上人口は2100年2038万人（41%） ← 2010年2948万人（23%）

嵐山町の人口を同じ比率で計算してみると 2100年は7379人 ← 2010年19069人

- 0～14才人口は2100年664人（9%） ← 2010年2293人（12%）
- 15～64才人口は2100年3682人（49%） ← 2010年12442人（65%）
- 65才以上人口は2100年3032人（41%） ← 2010年4334人（23%）